検索　金目川　http://www.asahigs.co.jp/kaname-net/index.html　編　集・発　行
金目川水系流域ネットワーク
世話人会

せせらぎ通信

申込みは平塚市環境政策課（21－9762）へお願いいたします。　平成２４年３月末日まで

利用者募集！

平塚市内の学校へ出前授業をいたします。

生き物観察会の様子

川で川にすむ水生生物や魚などをとって見て触れて観察し自然環境に対する意識を高めることを体験のなかから学びましょう。

川の自然環境を学び自然も環境保全の大切さを学べます。

対象は
小学生・中学生です。

講座名
川での生き物観察会。川の自然環境を学ぼう

開催条件は
・用具持参、場所は協議いたします。
　生徒数３０名前後で２校時必要です。
・教室にてパソコンとプロジェクターで開催生徒数３０名前後
　２校時必要です。

○費用は無料です。

講師紹介　金目川水系流域ネットワーク会員
とくに伝えたいことは、観察をして体験のなかから自然環境を大切にする心構えと、水を大切にしてほしいということです。

ひたむきに生き物観察中

平塚市周辺の移入貝類相

（金目川水系とその周辺）

陸から海へ：外来種（移入種）・国内移入種・国外移入種

福田良昭：（相模貝類研究談話会　会長）

● 陸産：国内移入種；日本固有種

コハクオナジマイマイ「琥珀同蝸牛；jp.Kohaku-onaji-maimai]

Bradybaena pellucida Kuroda and Habe in Habe,1953

平塚市土屋で発見！神奈川県初記録！

マイマイ超科オナジマイマイ科に属するコハクオナジマイマイは九州鹿児島県佐多岬を模式産地として記載されたオナジマイマイの近似種で日本固有種である。主に西日本（岡山県笠岡以西；浅見、他 1997）に分布するが、近年千葉県南部にも分布する（岡本、1992、他）ことが分かり、神奈川県平塚市で発見（浜口、1998）され、筆者が棲息を確認し報告した。「ちりぼたん」（福田、1999、Vol.30.No.1,p.18-22）その後、分布を拡大し、千葉県・神奈川県はもとより、埼玉・東京都・茨木県・でも分布棲息が確認された。

2010 年には厚木市・秦野市・伊勢原市・大磯町・中井町で分布を広げて一部農作物被害もでているそうだ。

● 淡水：国外移入種；　***注意喚起！！***

コモチカワツボ（ニュージーランド・マッドスネール）

[子持河壺;jp.Komochi-kawa-tsubo];相模川：馬入水辺の楽校産

Potamopyrgus antipodarum(Gray,1843)

=*Potamopyrgus jenkinsi* (Smith,1889)

誤:ニホンカワツボ(MS):*Potamopyrgus japonicus* Hayase & Habe, MS

誤:サクヤマカワツボ(MS):*Potamopyrgus sakuyamai* Sorita & Habe, MS

★筆者が確認した個体数は50cm×50cmで530個体を記録。

コモチカワツボは当初、イギリスで新種として記載されたがニュージーランド原産の外来移入種であることが、後に判明した。ヨーロッパはもとより，北アメリカ，日本においても当初新種として記載されたが，移入種であることがあいついで確認された。（波部，1990。増田他，1998）世界的に問題となっている貝の一つである。広く一般には，

New Zealand Mud Snail（ニュージーランド・マッドスネール）の名で知られている。「Mud＝泥まみれの，Snail＝マキガイ」

神奈川県においては，[千歳川（湯河原），新崎川（湯河原；上流に国際鱒釣り場あり），早川（小田原・箱根；上流に国際鱒釣り場あり），山王川（小田原；鮎が釣れる；放流？），相模川（平塚・茅ヶ崎；鮎の大量放流），境川（藤沢），神戸川（鎌倉），田越川（逗子）]の 8 河川でコモチカワツボの棲息が確認されている。

神奈川県の（神戸川：st1）では，50cm×50cmで18188匹を記録。（KERC,2005）。

● 淡水：国外移入種：要注意外来生物：
特定外来生物選定対象；類型３：植物防疫法規制対象）

スクミリンゴガイ(鹿間)（＝ジャンボタニシ）
[竦み林檎貝;jp.Sukumi-ringo-gai]
***Pomasea*　(*Pomasea*) *Canaliculata* Lamarck,1819**
[Apple snail・臺灣；金寶螺・福壽螺]

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、1981 年 11 月、（長崎県島原市の）業者がアルゼンチンから「**ジャンボタニシ**」を食用として輸入したが、採算が取れず側溝や水路に廃棄したところから爆発的に増えだした。稲を食い荒らす害貝として知られている。タニシは卵胎生（親と同じ形で生まれる）だが**スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は水上に卵を生みつける。タニシとは別のグループに属する。**

２２年（2010）０７月１０日（土）漂着物を拾う会の定例観察会で金目川河口通称花水川河口の虹ケ浜海岸に**スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の幼貝が漂着**した。金目川（花水川）水系に生息すると思われ、平塚市豊田方面に生息するといわれていた(浜口 2008；金目川の博物誌；平塚市博物館 p.59)ので、生息確認調査を行ったところイネに付着した、どぎついピンク色の「卵のう」と生貝をみつけた。

● **海産：国外移入種：**
（要注意外来生物：特定外来生物選定対象；類型１）

ミドリイガイ[緑貽貝：jp.Midori-igai]
***Perna viridis*　(Linnaeus,1758) [Asian green mussel]**

ミドリイガイは 1967（S.42）兵庫県で発見されたのがはじめで、東南アジア方面からバラスト水や船体付着によりはこばれた。その後、東京湾から南下し、千葉から鹿児島、日本海側の一部に広まっている。海水温の上昇が生息域を広げる要因のひとつと考えられている。相模湾では最近減少傾向のようだ。水質はきれいになるが在来生態系に影響？。

「湘南里川づくり」取組みのご紹介！

「湘南里川づくりみんなの会」がスタートしました

「湘南里川づくり」の取組みを金目川水系の流域全体に広げていくため、平成 22 年1月に「湘南里川づくり推進準備会」を立ち上げ、試行として里川づくりに取り組んできましたが、平成 23 年5月 23 日に「湘南里川づくりみんなの会」設立総会を東海大学湘南校舎にて開催し、本格実施に移りました。

総会には、見守り隊（１４団体・７個人）、流域３市・県の代表機関が出席し、湘南里川づくりの基本的な考え方や方向性を示す「ビジョン」を全員で確認した上で、会則、役員、23 年度の事業計画・予算を決定しました。また、東海大学との連携事業の募集などについて説明がありました。

＜総会の様子＞

＜役員会の様子＞

お申し込み・お問い合わせ先
湘南里川づくりみんなの会事務局
神奈川県湘南地域県政総合センター企画調整課
電話　（0463）22-2711（内線2112）
ホームページアドレス　http://www.satokawa.com/

６～７月はクリーンキャンペーン期間です。一緒に流域をきれいにしましょう！

里川づくり　検索

東日本大震災・ボランティア　佐々木和善

平成二十三年四月二十八日、夜十時に仲間に呼びかけたりもして集めた支援物資を車に積み出発、約五百ＫＭを走行いたしました。朝の五時に石巻市のボランティアセンターに着き、四月二十九日から「ＮＰＯ日本を美しくする会」に加入し活動登録を五日間行い活動してお世話になりました。皆のチームワークと、一人一人が協力しあい力を合わせて活動をできたことがとても素晴らしい団体だったと思います。活動はガレキの撤去、ヘドロ撤去、トイレ掃除とダンボールの整理と、支援物資の仕分けなどを行いました。私の感想としては、川は汚く、海も汚く、周りや道はガレキの山、一体どうしたら良いのかわからないくらいのくさんのガレキの山、さらに電化製品、材木の山、そして車の山で、衛生状態はすごぶる悪く、健康に生活していくのが難しい状態です。自衛隊の人たちが消毒を一生懸命やってくれているがまだまだ人が足りない状況で、ボランティアのみなさんが手伝い、消毒をすることも悪くはないと思いました。災害時のボランティア活動のマニアルを早く作り、ボランティアが自主的にスムーズに活動できるシステムが大切だと強く感じました。